

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和5年 2月 28日

事業所名: なかよしキッズ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			必要に応じて、カーテンやロールスクリーンで仕切って使っている	利用児の状況や特性に応じて、室内の設定や仕切り方を変更していきたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			ロールカーテンでの目隠しや利用児の実態(安全面や特性)に合わせた仕切	玩具置き場は、活用のしやすさと利用児からの注目を必要に応じて切り替えられるように改善していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員会 朝の打ち合わせ	日々の活動の振り返りも含めて、全職員で活動を作り上げられるようにする。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			配布資料の書式変更や追加説明 お知らせ方法にLINEを追加	業務改善と保護者との連携ツールとしてLINEやLINEworksを運用を運用していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			スタッフ派遣事業(やまびこ医療福祉センター)を活用した職員研修	外部講師による研修だけではなく、事業所内の研修を充実させて学びを意識づけてく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			モニタリングの意味等を保護者へわかりやすくするため、文書を配布している	アセスメントやモニタリングの目的の明確化と聞き漏らさないよう様式の変更を行う。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			遠城寺式乳幼児発達検査等	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			グループのリーダー中心にチームで行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			プログラムが変わっていく過程では、継続した活動も取り入れつつ変化を持たせている	プログラム内容とその目的を保護者にわかりやすく伝える方法を考えていきたい(保護者会やお便り以外の新しい方法で)
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇中の園外活動(遠足や買い物等を計画して実施している)	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝の打ち合わせを必ず行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			活動の共有	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務日誌 活動日誌 ケース記録	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者面談によるモニタリング	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○				

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管、利用児グループ担当者等	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	/	/
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			移行支援記録や電話、対面での連携会議を行っている	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			左記のような移行がない
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	相談支援定例会の情報などは共有している	機会があれば参加したい
保護者への説明責任等	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳やLINEを使ったやり取り	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者会等で、簡易的なものや触りの部分だけ取り入れている	年間で回数を決めて実施していきたい
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や変更があった場合説明している	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談支援とも連携を図りながら対応している	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者茶話会、学習会を兼ねて「なかよしタイム」を開催している	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談支援とも連携を図りながら対応している	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月一回の「なかよしだより」	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			項目ごとに分けた個人情報承諾書にて毎年確認	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ対策のため実施できていない	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				各種マニュアルについては、保護者向けの新しい文書を来年度配布する予定。説明については、動画視聴で対応する。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				消防所も交えた避難訓練を行えるようにする。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部研修受講	外部研修だけでなく、内部でも普段の療育にあてはめながら実践に基づいた研修を行ってきたい。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			個別支援計画交付の際に説明している	身体拘束に関しては保護者向けにも新たに説明文書を作って来年度配布予定
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○			対象児がない
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人内での報告会を行っている	法人内での報告会の周知を徹底すること、事業所内でも検討会を行ってきたい。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)